

# 第3学年 音楽科学習指導案

- 1 題材 曲の気分を感じて歌おう
- 2 教材 「ちびっこカウボーイ」 坂田 寛夫 作詞/アレキス 作曲/長谷部 匡俊編曲
- 3 指導に当たっての考え方

教材分析	
<p>楽曲「ちびっこカウボーイ」は、イタリアの児童曲「Tom Tirilin tom」が原曲で 明るく軽快な曲である。                      特徴的な要素は以下の通りである。                      歌詞：1 番は勇ましく元気にやってくるが 2 番になると前半は寂しがついて泣き出してしまいが後半元気をだそうとするなど心情変化がみられる。                      旋律：前半は八分音符を基調とした弾んだ感じ、後半は四分音符や二分音符、付点四分音符から構成された流れる感じになっている。                      強弱：元気な場面と寂しがついている場面の心情変化を歌声の強弱や速度の変化で表現することができる。</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <p>また後半には、歌の旋律とは対照的に長い音価を持つリコーダーのパートが配され、合奏唱の楽しさを味わうことができる。                      以上のような教材であるので、歌詞の内容から曲の気分を感じ取ってちびっこカウボーイの気持ちを工夫して表現することができる。</p>

- ### 児童の実態
- 歌唱・器楽への関心が高く楽しみながら歌う子が多い。曲想を生かして歌うという経験が少なく歌詞内容からとらえた思いを表現しようとするはまだ十分ではない。
  - 旋律やリズムの特徴に気づくことができても、その特徴を生かした歌い方を工夫することはまだ十分ではない。
  - きれいな声で歌いたいという思いはもっているが、発声の仕方等に気をつけて歌う力はまだ十分ではない

聴く活動を中心とした主な支援	自分の思い	指導内容
<p><b>曲想や曲の特徴を聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞朗読後の範唱CDの聴き取り</li> <li>○ 教師の範唱の聴き比べ (音程・リズム)</li> <li>○ 縦書き歌詞、拡大楽譜の提示</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>つかむ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちびっこカウボーイはとっても元気だなあ。明るく元気に歌おう。</li> <li>・でも2番は1番と同じ歌い方じゃだめだ。</li> </ul>	<p>歌詞の表す様子を感じて、ちびっこカウボーイの気持ちになって歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 元気に明るく歌うこと</li> <li>○ 音程やリズムを正しく歌うこと</li> <li>○ 1番と2番の歌詞のちがいに気付き、工夫して歌おうとすること</li> </ul>
<p><b>思いに沿った歌い方を工夫するための聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 速さのちがいの聴き比べ・歌い比べ</li> <li>○ 強弱のちがいの聴き比べ・歌い比べ</li> <li>○ リコーダーを加えた演奏の聴き取り</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>深める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2番は、寂しがついているところだから、少しゆっくり弱く歌うと感じが出そうだな。</li> </ul>	<p>歌詞の内容の違いを生かした歌い方で工夫して歌うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1番と2番の歌詞の違いを強弱や速さの工夫で表現すること。</li> <li>○ 2番の前半と後半の心情変化を表現すること。</li> <li>○ 自分たちの工夫の成果を確かめること</li> </ul>
<p><b>思いをこめた表現を味わい、音楽のよさを感じ取るための聴く活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のまとめとしての聴き合い</li> <li>○ 表現のよさを認め合う聴き合い</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>味わう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちびっこカウボーイの気持ちがよく表現できたな。</li> <li>・リコーダーを加えるともっと演奏が楽しくなるよ。</li> </ul>	<p>自分の思いを表現し、歌い深めたり、リコーダーを加えた演奏を楽しむこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 友達の表現を聴き、よさを見つけること</li> <li>○ 自分の表現をさらに工夫し深めること</li> <li>○ 歌にリコーダーを加えた演奏を楽しむこと</li> </ul>

- ### 題材目標
- 旋律やリズムの特徴を生かして楽しく歌おうとしたり、リコーダーを加えた演奏を楽しもうとしている。  
(関心・意欲・態度)
  - 歌詞の内容の違いを生かした歌い方を工夫して歌うことができる。  
(感受・表現の工夫)
  - リズムに気を付けて、自然で無理のない声で歌うことができる。  
(表現の技能)

4 指導計画(3時間)

	つかむ①	深める①(本時)	味わう①
ねらい	歌詞の情景や様子を思いうかべて楽しく歌うことができる。	歌詞から気持ちの変化を感じ取って、歌う強さや速さなどを工夫して歌うことができる。	歌唱にリコーダーを加えた演奏をして楽曲のよさを感じ楽しむことができる。
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲想をつかむこと</li> <li>○ 斉唱で正しく歌うこと</li> <li>○ 歌詞の内容を感じ取り自分の思いをもつこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、自分の思いや意図をもって歌うこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聴き合ったり歌い合ったりして、よりよい表現へと高めていくこと</li> <li>○ 歌にリコーダーを加えた演奏をしむこと</li> </ul>
主な学習活動と内容	<p>1 楽曲「ちびっこカウボーイ」と出会い、本時学習のめあてについて話し合う。【聴く活動①】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ちびっこカウボーイの気持ちを考えながら歌おう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞の意味を理解し自分なりの思いを持つこと</li> </ul> <p>2 自分の思いをふくらませながら歌う。</p> <p>(1) 範唱 CD に合わせて斉唱で歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌詞を正しく覚えること</li> </ul> <p>(2) 正しく歌えていないところを部分的に歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リズムや音程に気をつけること</li> </ul> <p>(3) ちびっこカウボーイの気持ちを表すための歌い方の工夫を意識して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分なりに歌い方を工夫しようとする</li> </ul> <p>3 本時学習のまとめとして歌い次時表現への思いをもつ。</p> <p>(1) まとめとして歌い、録音する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ちびっこカウボーイの気持ちになって歌うこと</li> </ul> <p>(2) 教師の範唱を聴き、次時学習では、1番と2番の歌詞内容が違うことをとらえ、歌い方を工夫することを伝える。【聴く活動②】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分なりの工夫を音楽ノートに書くこと</li> </ul>	<p>1 前時学習を振り返り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">1番と2番をちびっこカウボーイの気持ちに合った歌い方で歌ってみよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 心情の違いに応じた歌い方の工夫をしたいという思いをもつこと</li> </ul> <p>2 1番と2番の歌詞の内容の違いに応じた歌い方を工夫して歌う。</p> <p>(1) 心情に合った強さや速さで歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気持ちを強弱や速さで表すこと</li> </ul> <p>(2) 2番の後半で元気をとりもどしたカウボーイの気持ちを考え歌い方を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歌いながら歌う強さや速さや歌い方等工夫すること</li> </ul> <p style="text-align: right;">【聴く活動③】</p> <p>3 本時学習のまとめとして歌い、次時学習の予告を聞く。</p> <p>(1) 歌い方の工夫を確認して歌うこと</p> <p>(2) 次時学習では、より楽しく歌うためにリコーダーを加えることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リコーダーパートを聴いて、自分もやってみたいと意欲をもつこと</li> </ul>	<p>1 前時学習を振り返り、本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">歌声にリコーダーをくわえて楽しもう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リコーダーを加えてより楽しもうという思いをもつこと</li> </ul> <p>2 リコーダーの旋律を演奏する。</p> <p>(1) 旋律と運指の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音程、長さを正しく演奏すること</li> <li>○ タイの意味を知り正しく演奏すること</li> </ul> <p>(2) 前時学習で工夫した表現にリコーダーを合わせて演奏を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 演奏しながら歌とリコーダーのバランスを聴きリコーダーの人数を決めること</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲想を感じ取った演奏になるようにすること</li> </ul> <p>3 「ちびっこカウボーイ」を歌い、本題材をまとめる。</p> <p>(1) リコーダーを加えて歌い録音する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲想に合わせた歌い方の工夫(速さ・強弱)を確認して歌うこと</li> </ul> <p>(2) 今までに録音した歌声を聴き比べながら、ふり返る。【聴く活動④】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ちびっこカウボーイの心情が伝わるように歌えたこと</li> </ul>

5 本時 深める段階（2 / 3）

6 本時の目標

ちびっこカウボーイの気持ちを考え、強さや速さなどを工夫して歌うことができる。

7 準備

教師：範唱 CD、拡大楽譜、縦書き歌詞、心情図、オルガン、リコーダー  
 児童：音楽の教科書

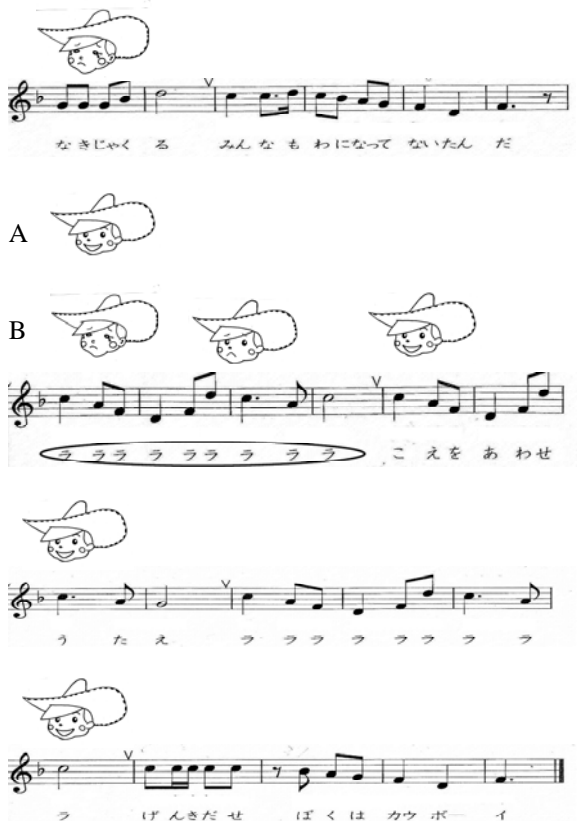
8 本時指導の考え方

本時は、歌詞からちびっこカウボーイやみんなの気持ちを考え、強さや速さなどの歌い方を工夫して、ちびっこカウボーイの気持ちを表現することが主なねらいである。

そこで、本時指導にあたっては、次のような手だてをとりながら学習を進めていく。


- まず、1 番の元気で勇ましい歌詞と 2 番のさみしくて泣き出した歌詞を比べてちびっこカウボーイの気持ちを考えさせ、速さや強さなど歌詞に合った歌い方の工夫をさせる。
- 次に、2 番後半のちびっこカウボーイの心情変化を表現するには、ラーララ/ラーララから歌い方を変えた方がよいことに気づかせ、歌い方を工夫させていく。

【聴く活動③】について

ねらい	手だて	期待する子どもの様子
<p>2 番の心情変化を歌に生かし、歌い方を工夫させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後半のラーララ/ラーララの歌い方                      A・・・すぐに元気よく歌う歌い方                      B・・・だんだん元気に歌う歌い方                      を聴き比べて自分の歌い方を決め、自分の思いを深めていく。</li> <li>・ちびっこカウボーイの心情図を使いながら歌い比べさせ、よりよい歌い方を工夫させていく。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の歌い方を相互評価し、それぞれよさに気付かせる。</li> <li>・2 番の後半について A・B の 2 通りによさを感じたならば、その部分はリピートしてどちらも歌うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A の歌い方を選ぶ児童                      「ちびっこカウボーイは元気を出そうとしてラーララと歌っているのだから元気よく歌いたい。」</li> <li>・ B の歌い方を選ぶ児童                      「ちびっこカウボーイは泣いていたけど、元気を出そうとだんだんがんばったと思うからラーララとだんだん元気を取り戻すように歌いたいな。」</li> <li>・どちらもよさがあるなあ。</li> </ul>

- 最後に、範唱 CD に教師のリコーダーを加えた演奏を聴かせ、音の広がりやすがすがしい気持ちを感じ取らせ、次時学習の課題を明らかにするとともに児童の学習意欲を高める。

9 展開

学習活動と内容 (○)	主な支援・学習活動における評価規準(※)
<p><b>1 前時学習を振り返りながら、本時学習のめあてについて話し合う。</b></p> <p>(1) ちびっこカウボーイを斉唱で歌う。 ○ リズムや旋律・音程に気をつけて正しく歌うこと。</p> <p>(2) 本時学習のめあてについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1番と2番をちびっこカウボーイの気持ちに合った歌い方で歌ってみよう。</p> </div> <p><b>2 1番と2番の歌詞の内容の違いを生かした歌い方を工夫して歌う。</b></p> <p>(1) 1番と2番の歌詞の内容からちびっこカウボーイの気持ちを想像し、強弱や速さを工夫する。</p> <p>○ 1番の元気でいさましいカウボーイと2番の寂しくなったカウボーイの気持ちを比べて歌い方を変えること</p> <p>(2) 元気をだそうとする2番後半の歌い方を工夫する。</p> <p>○ 後半のラーララ/ラーララ/ラーラ/ラーの強さ、速さを聴き比べながら決めること</p> <p style="text-align: center;"><b>【聴く活動③】</b></p>  <p>A.ラーララから1番と同じ強さ、速さで元気をだそうとがんばる気持ちを表現する歌い方</p> <p>B.ラーララから少しずつ強く、速くなりだんだん元気がでてくる気持ちを表現する歌い方</p>	<p>・前時学習で気をつけて歌ったところを確かめながら歌うように、拡大楽譜の印を付けたところを指し示しながら歌わせる。</p> <p>・2番は「さみしがっているね」「泣きだしたね。」とみんなで歌いながら、強さや速さに気づかせていく。その時、ちびっこカウボーイの表情図(元気顔)と(泣き顔)を児童の歌い方に合わせて変えていき歌詞と歌い方をつないでいく。</p> <p>・2番を歌いながら前半も後半も同じ様な歌い方をするとおかしいことに気づかせ、後半のラーララからすぐに変えるか(A)だんだん変えていくか(B)歌いながら決めるようにしていく。</p> <p>・Aの歌い方とBの歌い方の違いが視覚的にも分かるように拡大楽譜にカウボーイの表情図を貼る。</p> <p>・Aの歌い方で歌ってみたい児童とBの歌い方で歌ってみたい児童のグループに分けお互い聴き合い評価する。</p> <p>・2番の後半についてA・Bの2通りに良さを感じたならば、その部分はリピートしてどちらも歌うようにする。</p>
<p><b>3 本時学習のまとめとして歌い、リコーダーの入ったちびっこカウボーイを聴く。</b></p> <p>(1) 本時学習を振り返る。 ○ ちびっこカウボーイの気持ちに合った歌い方で1番・2番を歌うこと</p> <p>(2) 次時学習にリコーダーが入ることを知り、自分なりの思いをもつ。 ○ 範唱CDにリコーダーを加えた演奏を聴き、意欲をもつこと</p>	<p>※ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、自分の思いや意図をもって歌っている。</p> <p>・範唱CDに教師のリコーダーを加え、どんな感じになったか発表させ、次時課題をより具体的にするとともに、次時への意欲を持たせる。</p>